

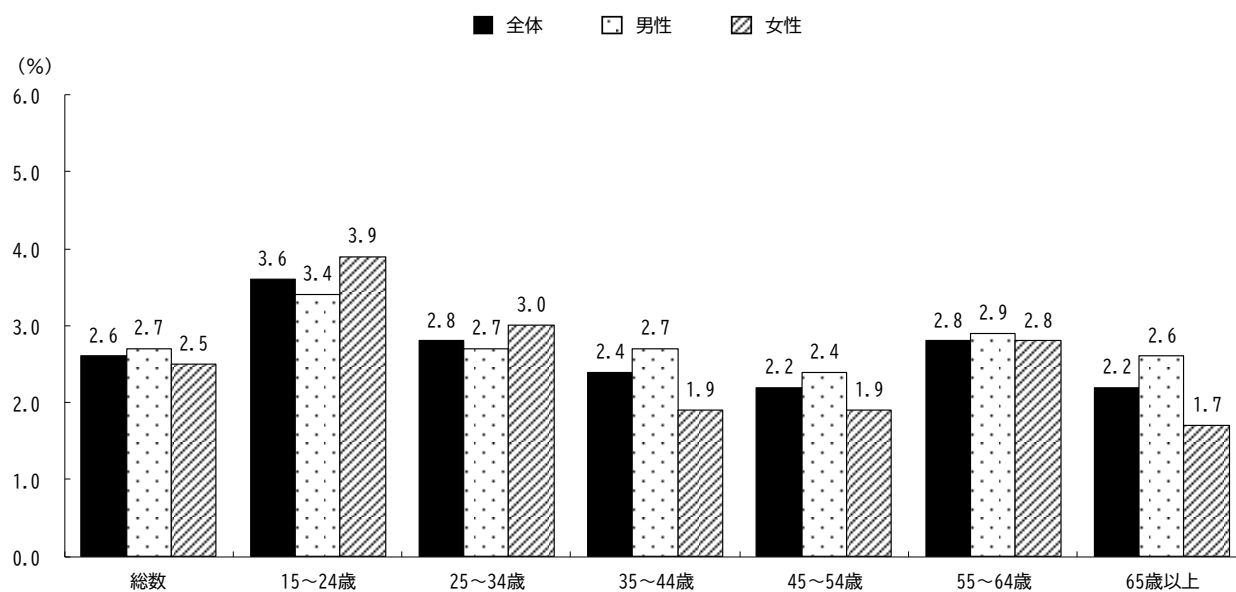
3-3 若年層への支援

1. 完全失業率

令和6（2024）年の都の完全失業率は、男性2.7%、女性2.5%で、全国とほぼ同じである。
女性よりも男性の方が高い傾向にあり、年齢階級では都・全国ともに15～24歳が高い。

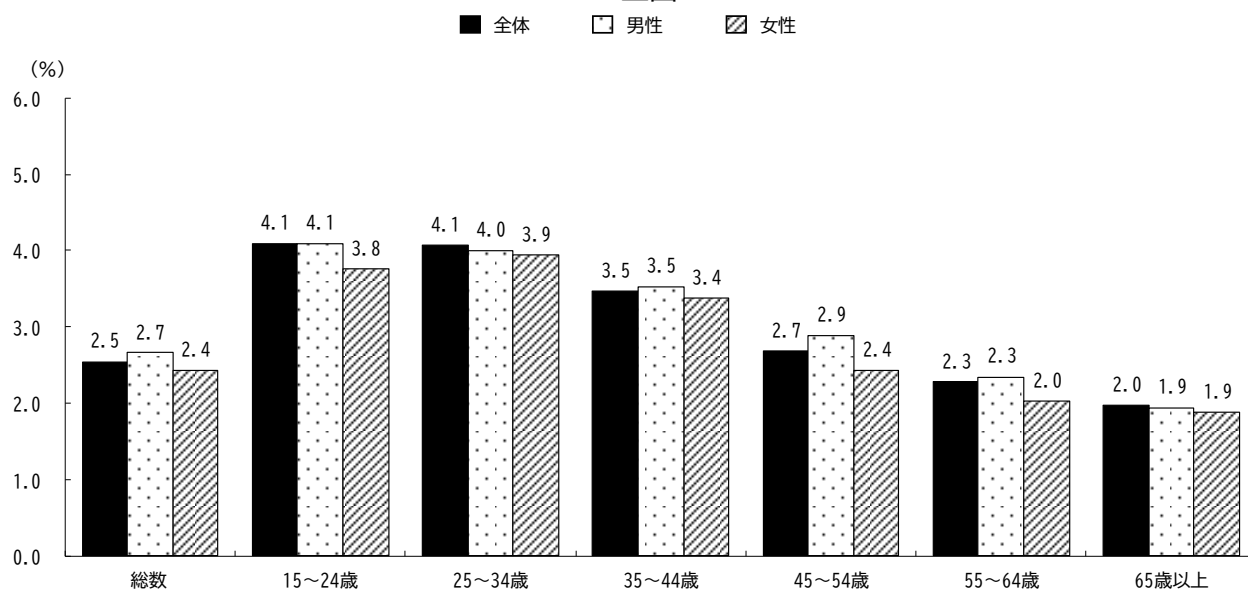
図表 3-3-1 性・年齢階級別完全失業率（都・全国）

<都>



資料：東京都総務局「東京の労働力（労働力調査結果）」（令和6年平均）

<全国>

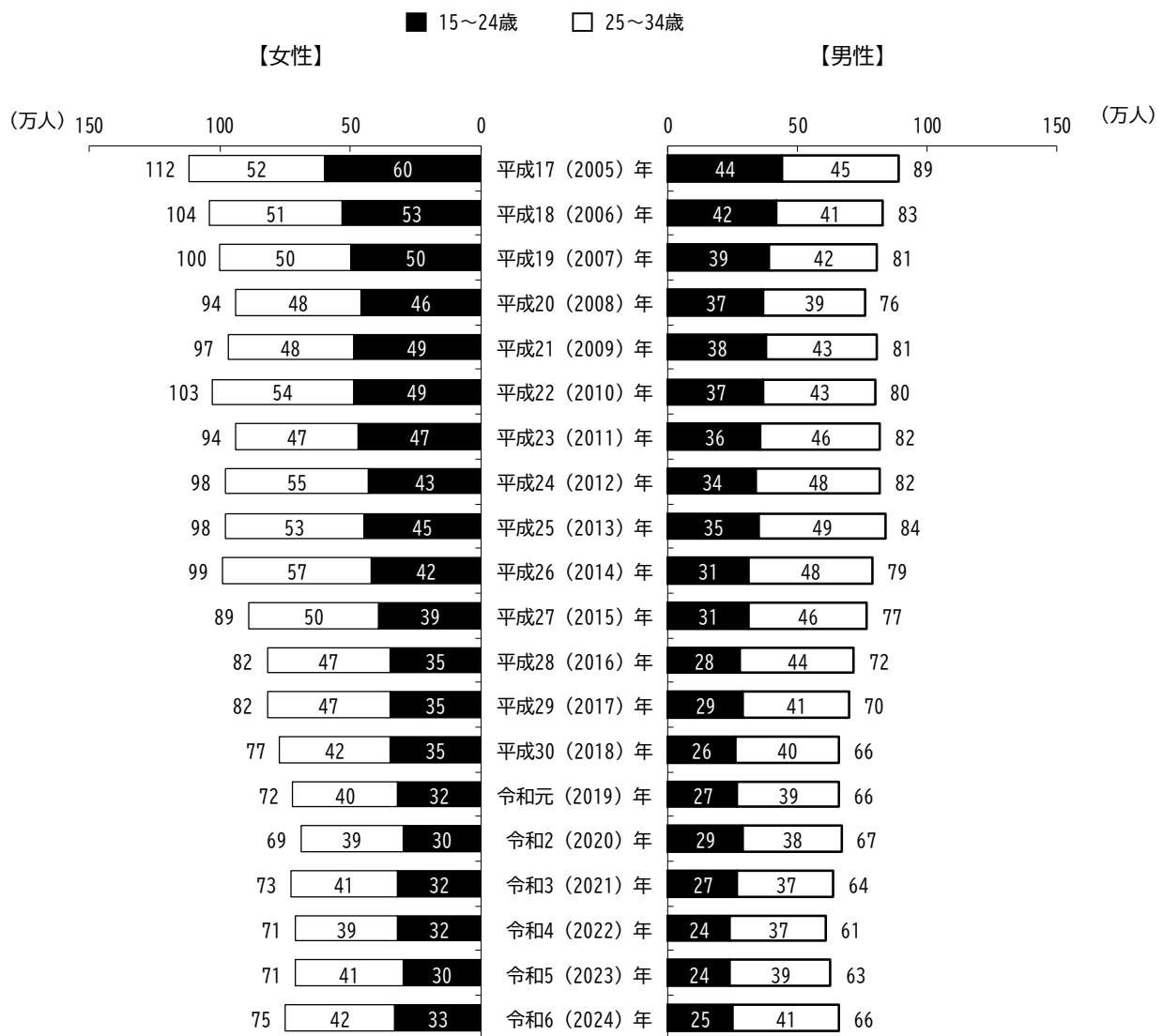


資料：総務省「労働力調査（基本集計）」（令和6年平均）

2. 年齢階級別フリーター数の推移

全国のフリーター数は、令和6（2024）年で男性66万人、女性75万人である。平成17（2005）年以降の推移をみると、若干のバラつきはあるが、男性、女性とも緩やかな減少が続いている。

図表 3-3-2 年齢階級別フリーター数の推移（全国）



注1：ここでの「フリーター」の人数は、若年層（15～34歳の男性(卒業者)、女性(卒業で未婚の者)）のパート・アルバイト及びその希望者で、下記①～③の合計である。

①「パート・アルバイト」での雇用者

②完全失業者のうち探している仕事の形態が「パート・アルバイト」の者

③非労働力人口のうち希望する仕事の形態が「パート・アルバイト」で、家事も通学も就業内定もしていない「その他」の者

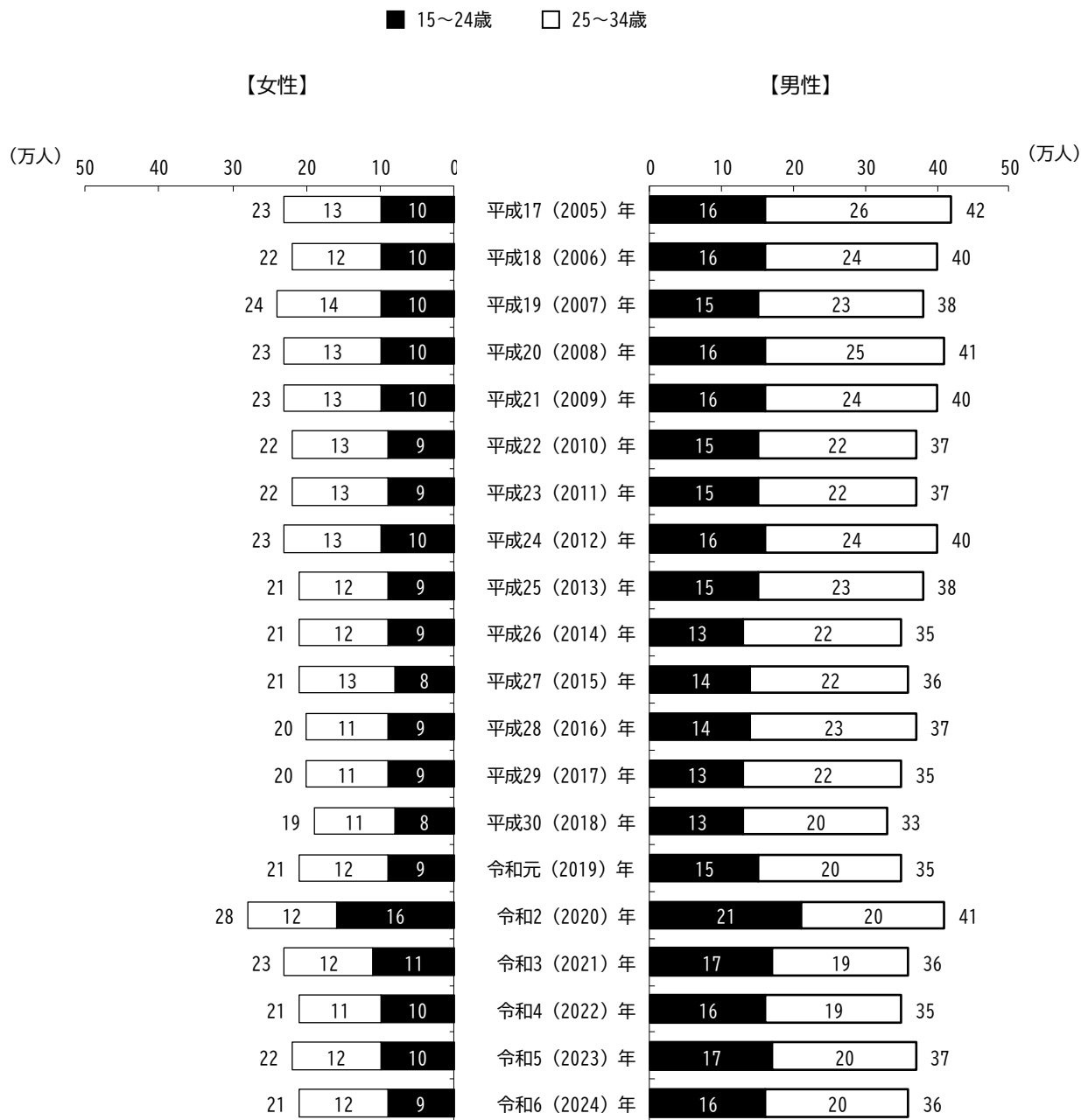
注2：平成23（2011）年は、岩手県、宮城県及び福島県を除く。

資料：総務省「労働力調査（詳細集計）」（令和6年平均）

3. 年齢階級別若年無業者数の推移

全国の若年無業者数は、令和6（2024）年で男性36万人、女性21万人である。男女とも平成24（2012）年以降はゆるやかな減少傾向にあり、令和元（2019）年から増加傾向に転じたが、令和3（2021）年以降は横ばいである。

図表 3-3-3 年齢階級別若年無業者数の推移（全国）



注1：ここでいう「若年無業者」は、15～34歳の非労働力人口のうち、家事も通学もしていない者。

注2：平成23（2011）年は、岩手県、宮城県及び福島県を除く。

資料：総務省「労働力調査（基本集計）」（令和6年平均）